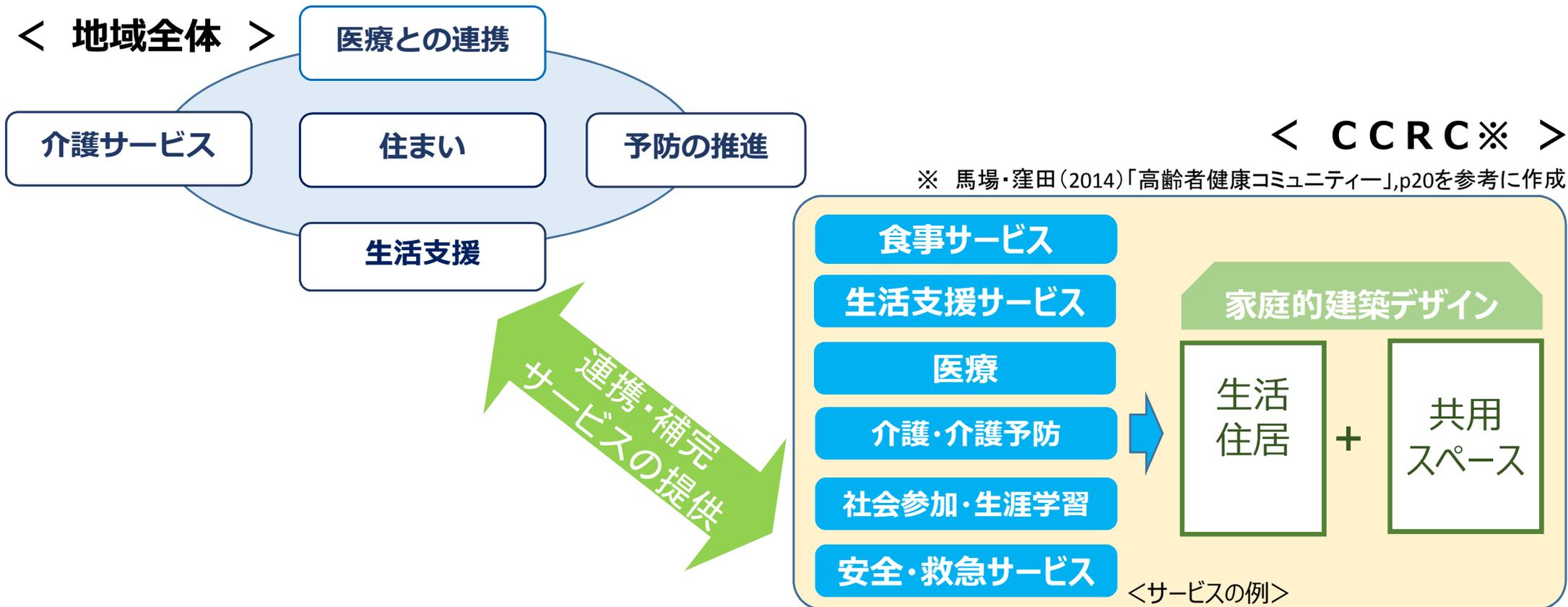


- CCRC：高齢者が自立して、健康に、楽しく、快適に暮らすため、「自立型住まい」を中心とした総合的なサービスを提供する仕組み。
  - 入居者の尊厳と自立を基本とする中で、必要とする入居者には、食事サービス、家事サービス・移送サービスなどの生活支援、医療・介護・予防、社会参加・生涯学習、安全・救急サービスなどを提供する。
- コンパクトな地域包括ケアシステムともいえるし、既存の地域資源と連携し、地域全体にサービスを広げることで、地域全体の地域包括ケアシステムの構成要素にもなる可能性があるのではないか。



# CCRCについて（論点）

- 研究会報告書で提案されている、多世代共生型のCCRCとしては、エリア内に高齢者住宅（＋サービス）と一般住宅（若者、ファミリー層の住宅）、コミュニティースペース（多世代交流・賑わい）を配置するものが考えられるのではないか。
  - 高齢者住宅は高齢者の自立型住まいとそれを支えるためのサービスを提供し、一般住宅は東港や新潟市などへ通勤、通学する若者、ファミリー層の移住・定住を促進する。

## < 多世代共生型CCRCの構成 >

### 【入居者像】

- ① 町内の高齢者
- ② 東港に通勤し、新潟市などで居住する子世代などとの近居を望む高齢者（転入者）
- ③ 広域的な範囲で転入してくる高齢者（転入者）

### 【高齢者住宅】

- 自立型住まいとサービスの提供

### 【コミュニティースペース】

- 多世代交流
- 賑わい創出

### 【一般住宅】

- 東港や新潟市などへ通勤、通学する若者、ファミリー層の移住、定住促進

※ ②③の高齢者の介護保険・国民健康保険については、**住所地特例**が適用され（有料老人ホームに該当するサービス付き高齢者住宅等）、**保険者は転出元自治体のままであるため、町の負担の増大を招くものではない。**

- 研究会報告では、CCRCは民間事業とすることが提案されている。このような民間事業を地域包括ケアの構築、生涯活躍のまちの形成に位置づけ、促進することについてどう考えるか。
  - 町はどのような関与をしていくべきか。
  - CCRCのメリット（地域包括ケアの構築以外）はどのようなものか。⇒例えば、医療介護・福祉分野の雇用創出、転入者による経済効果等。
  - CCRCの課題は何か。⇒例えば、事業性の確保、人材確保等